

「経営発達支援計画(3期計画)」に係る 第2回事業評価委員会

当所では、小規模事業者の経営の改善発達を支援するため、小規模事業者支援法に基づき、令和3年3月に経済産業大臣より「経営発達支援計画(3期計画)」(実施期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日)の認定を受け、事業に取り組んでいます。

このたびは事業評価委員会を開催し、「経営状況並びに経営課題アンケート」の集計結果と3期計画の2年目にあたる令和4年度事業の実施状況を説明し、評価いただきましたのでご報告します。

日時 令和5年6月6日(火)
10時～11時30分

場所 福山商工会議所第2応接室

出席者

(委員長) 福山大学 経済学部

教授 平田 宏二氏

(委員) おかもと 診断士事務所

代表 岡本 泰之氏

福山市経済環境局経済部

産業振興課 課長 富永雄一郎氏

(事務局) 福山商工会議所

専務理事 小林 仁志

事務局長 後藤 学

産業振興部長 後藤 裕正

経営課長 山本 順二

経営課振興係長 藤本 邦明

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組

(事務局より報告) OPEN STREET T F U K U Y A M A、まちゼミ福山の浦 de A R T など実行委員会等と連携して地域の活性化につながる取組が実施できた。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

(事務局より報告) 独自に実施したD X 支援やインボイス対応の職員研修のほか日本商工会議所、県商工会議所連合会、中小企業大学校等の研修会、広島県、福山市の産業支援者会議への参加などにより、スキルの習得、支援のレベルアップに努めた。

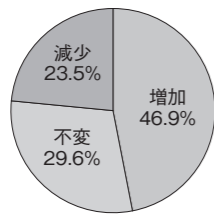
総評 平田委員長より

全体的に概ね良好と評価しました。予定の事業を目標どおり達成していたが、重要なことは個々の企業ではどのような成果が得られたかである。中心市街地には、交通、文化、娯楽などの魅力があり、それを生かすように取り組んでいただきたい。以上、委員の意見を踏まえ、3期計画の3年目にあたる令和5年度においても小規模事業者に対する事業計画策定支援など、伴走型支援に引き続き取り組んでいきます。

経営状況並びに経営課題アンケート調査結果

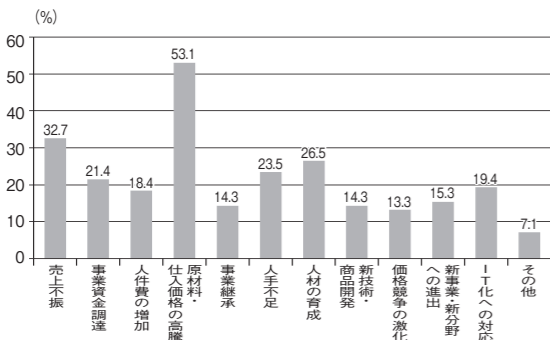
- 実施目的 当所が取り組む伴走型支援の成果を把握し、今後の活動に生かすことを目的に実施。
- 実施期間 令和5年3月24日(金)～4月28日(金)
- 実施方法 当所にて補助金申請、経営計画策定、マル経融資等を行った会員事業所を対象に、郵送により調査票を送付し、F A X・インターネットにて回答。
依頼事業所数 297社 回収事業者数 98社(回収率33.0%)

1. 令和4年度売上見通し(対前年比)
増加46.9%、不変29.6%、減少23.5%となり、増加が減少を23.4ポイント上回った。



2. 令和4年度経常利益の見通し(対前年比)
増加35.1%、不変30.9%、減少34.0%となり、増加が減少を1.1ポイント上回った。

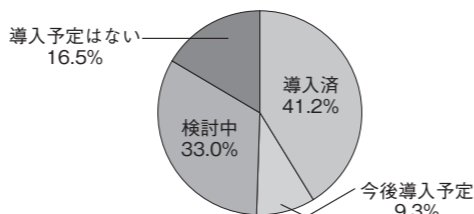
3. 直面する経営上の課題(複数回答)
原材料・仕入価格の高騰53.1%の回答が最も多く、次いで売上不振32.7%、人材の育成26.5%、人手不足23.5%の順で回答が多かった。



4. 経営課題への対策(記述式:抜粋)
- 原材料・仕入価格の高騰等…商品の入れ替え、経費・ロス・コスト削減、作業効率化など
 - 人手不足、人材育成等…待遇改善、働きやすい環境づくり、研修、OJTなど
 - 売上不振・IT化等…商品の多角化、売れ筋商品の絞り込み、新メニュー開発、新分野の開拓、SNSの活用など

5. 当所から今後一層の支援を望むもの(複数回答)
中小企業支援施策の情報提供や申請支援が44.3%と最も多く、次いで、経営安定・金融支援40.2%、販路開拓・マーケティング支援33.0%、経営力向上への支援24.7%の順で回答が多かった。

6. 業務におけるIT導入・デジタル化の推進状況
導入済41.2%、今後導入予定9.3%、検討中33.0%で導入予定はないは16.5%であった。



7. 導入済、今後導入予定、検討中と回答の該当するサービス(複数回答)
会計ソフト45.0%が最も多く、次いで顧客管理ソフト37.5%、クラウド活用30.0%、ECサイト構築28.8%、セキュリティ強化26.3%、ペーパーレス化25.0%、紙文書の電子化25.0%、在庫管理ソフト21.3%、キャッシュレス化21.3%、勤怠管理ソフト16.3%の順で回答が多かった。

8. デジタル化推進で当所へ求める支援(記述式:抜粋)
・情報提供、セミナー・勉強会、気軽に相談できる環境、デジタル化のサポート など

- 意見・要望(抜粋)
- きめ細やかなフォロー体制が会議所にあることを会員に知ってもらい活用してほしい。
 - 地元産品のPR助成と販路拡大のアドバイス
 - バイヤーとのマッチングを希望
 - 実践的な研修も含め勉強になり、活用させていただきます。



▲各事業の審議を行う平田委員長(中央)と委員

内容 3期計画の内容に沿い、令和4年度取り組み内容を項目ごとに目標と実績を対比させながら説明し、委員よりそれぞれ講評・意見をうかがい、AからDの4段階で評価いただいた。

2. 経営状況の分析 (評価:A)

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業 (評価:B)

評価…評価基準
A…目標を上回った、または目標通りの成果があった。
B…概ね目標を満たした。
C…やや目標を下回った。
D…目標の水準に達していない。

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査 (評価:C)
(講評・意見) 景気観測調査、各種統計データ調査は概ね目標通り公表できている。新たな取り組みとして幅広い業種で業界動向の調査・公表を行った点は評価できるがそれ以外に変わった点が見られない。

2. 新たな需要の開拓に寄与する事業 (評価:B)
(講評・意見) ビジネス交流フェアやふくやまMarche等への出展を支援した。その他のイベントにも概ね目標に近い事業者が出展している。商談件数など一部未達はあるが、目標売上を上回っている事業者もあり成果があった。

3. 事業計画策定支援 (評価:A)
(講評・意見) 実績228件は目標95件を大幅に上回っており評価できる。

4. 事業計画策定後の実施支援 (評価:A)
(講評・意見) 実績228社469回(目標95社305回)、売上増加事業者数46社(目標30社)、経常利益増加事業者数33社(目標10社)といずれも目標を上回っており、十分なフォローアップが実施できている。

5. 需要動向調査 (評価:B)
(講評・意見) 地域資源の需要動向については、新たに琴のニーズ調査、商品開発事業ではモニター調査を実施しており評価できる。